



# Appleと教育

## Managed Apple IDの概要

教育機関へのAppleの製品の導入の際には、生徒と教職員のみなさんが利用するサービスとManaged Apple IDの対応について理解しておくことが重要です。Managed Apple IDは学校向けに作られたアカウントで、これを使って生徒と教職員のみなさんがデバイスをパーソナライズしたり、Appleが提供する主なサービスにアクセスしたりできるようになります。

多くの国と地域で、生徒のデータの保護と使用の制限が学校に要求されています。Managed Apple IDは、初等、中等（または相当する）教育機関が生徒のプライバシー保護に関する要件に準拠できるように設計されており、生徒の年齢を問わず、教育機関が多数のアカウントを作成し管理するのを簡単にしてくれます。

### Managed Apple IDについて

Managed Apple IDは、学校が作成し所有する特別なアカウントです。Appleのサービスにアクセスすることができ、同時に、購入や通信の機能制限、役割に基づく管理など、プライバシーとセキュリティに関する学校としてのニーズを満たしています。

技術的には、Apple IDはデバイス導入の際に必要ではありません。Apple製デバイスの管理、アプリケーションの配布、iPadのためのクラスルームアプリケーションの導入はいずれも、Apple IDをデバイスに設定しなくても実現可能です。学校でどのAppleのサービスを使う計画があるのかを確認し、Managed Apple IDへの最適な移行方法を検証してください。通常のApple IDをManaged Apple IDに変換することはできません。

Managed Apple IDと通常のApple IDには、いくつか主だった違いがあります。校内で通常のApple IDの使用を許可する場合は、学校環境向けに特化して作られているManaged Apple IDとの利用規約の違いを理解しておいてください。通常のApple IDには、一般消費者向けのサービス規約（プライバシーポリシーを含む）が適用されます。これらのポリシーを確認してください。

### 教師と生徒のための機能

Managed Apple IDは、教育現場で使用される代表的なiCloudサービスや学校のために用意された機能にアクセスするために作られています。

- **iCloudサービスへのアクセス。** iCloudサービスには、Shared iPad、iCloud Drive、写真、Safari、メモ、News、カレンダー、リマインダー、バックアップが含まれます。
- **教育機関側からのパスワードのリセット。** IT部門を介さずに教師が生徒のManaged Apple IDパスワードをリセットできます。
- **管理対象iTunes Uコース。** 教師がManaged IDで作成したiTunes UコースにApple School Managerで管理されている名簿を読み込ませることができます。教師から招待しなくても生徒がコースに参加することができます。
- **iWorkの共同作業。** 同じ教育機関内の教師と生徒が、iWorkとメモでの共同作業ができます。
- **ブック（一部の国や地域では利用できません）。** VPPで購入したものを含め、ブックをManaged Apple IDに割り当てることができます。

## 教育機関向けにカスタマイズ

Managed Apple IDは教育機関専用なので、生徒と教師の個人情報保護のために特定の機能が無効になっています。

- **コンテンツの購入。**生徒のManaged Apple IDでは購入が無効になっています。そのためApp Store、iBooks Store、iTunes、Apple Musicのコンテンツ購入機能はサポートされていません。教師は、学校の設定で許可すればApp Storeにアクセスできます。
- **iCloudメール。**Managed Apple IDではiCloudメールを利用できません。
- **iPhoneを探す。**Managed Apple IDではこの機能がオフになっています。組織が所有するデバイスについては、学校が、MDM紛失モードを使って紛失したデバイスを探したりサウンドを鳴らすことができます。
- **Apple PayとWallet。**Managed Apple IDでは、Apple PayやWalletなどのサービスにアクセスできません。
- **FaceTimeとメッセージ。**FaceTimeとメッセージは、デフォルトでは無効になっています。学校は、Apple School Managerからこれらの機能を有効にすることができます。
- **Apple Teacherプログラム。**Managed Apple IDではApple Teacherプログラムのポータルにアクセスできません。

## 管理者のための機能

すべての生徒や教職員のアカウントを学校で作成、管理するのにサポートするためのManaged Apple IDの機能を作り、Apple School Managerで管理できるようにしました。

- **アカウントをまとめて作成。**Apple School Managerを使えば、生徒と教職員のための学校所有アカウントを簡単に作成できます。管理者は、サポート対象のStudent Information Systemを使用するか、またはCSVを定期的にアップロードすることで、名簿データを同期できます。
- **新しい役割と権限。**管理者は、教職員のための新しい役割と権限を作成できます。例えば、管理者は、教師がVolume Storeでアプリケーションや本を購入できるようにしたり、管理者を追加したりできます。
- **プライバシーとセキュリティの機能。**プライバシーとセキュリティの機能によって、Appleのサービス内ではデータが常に強制的に暗号化され、ターゲティング広告がブロックされます。
- **管理機能。**Managed Apple IDのアカウント設定として、監査や、パスワードのリセットを場所ごとに管理できる機能が含まれます。

Managed Apple IDを利用するには、[school.apple.com](https://school.apple.com)にログインしてください。

---

## リソース

### サポート記事

- [教育機関向けの管理対象Apple IDについて](#)
- [Apple School Managerへのアップグレードに備える](#)
- [Student Information SystemをApple School Managerに接続する](#)

### プライバシーに関するリソース

- [教育機関向けデータとプライバシーに関する概要](#)
- [Parent Guide to Privacy \(英語\)](#)
- [Appleのプライバシー対策](#)